

平成19年 / 2007

No. 10

野口遵顕彰会

野口 遵

顕彰会だより



ごあいさつ

野口遵顕彰会

会長 清本英男

秋冷の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当野口遵顕彰会に対しましてご高配・ご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、この延岡に今から83年前、旭化成の創業者野口遵翁が世界で初めてアンモニア合成工場(現在の薬品工場)を建設し、大正12年(1823年)10月5日は最初のアンモニアができた画期的な“日”となりました。その後、このアンモニアを有効利用して次々と工場が建設され、延岡は現在の工業都市へと発展してきました。

このことから野口遵翁は“のべおか新興の母”と言われていますが、このことは皆様方にもかなり認知されてきたように思います。そして、同翁を顕彰して活動を進めています当野口遵顕彰会も皆様に理解されてまいりました。これからも一層の充実・発展に努めてまいりますので、引き続いて皆様方のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、本年度の事業実施状況について別紙のとおり報告いたします。

平成19年10月

副読本縮刷版の配付事業

《「のべおか新興の母 野口 遵」》

野口遵翁の科学者として、また、世界的な事業家としての業績や延岡市の発展に多大な功績を残したことなどを、中学生の皆さんによく知ってもらうために、中学校副読本「のべおか新興の母 野口遵」（冊子）の縮刷版（B6版）を、延岡市、高千穂町、日之影町の中学校24校の2年生全員に5月末に配付いたしました（計1,800冊）。



各中学校では朝の読書の時間を活用するなどして、生徒の理解を深めるのに役立っています。なお、この縮刷版は今回で3回目の配付となりました。

青少年科学技術派遣

《第7回『ジュニア科学者の翼』》

科学技術への関心を高め、“夢”と“ロマン”を持って21世紀で活躍する人材への成長を期待して、今年も去る7月24日（火）～27日（金）の3泊4日の日程で実施しました。

訪問した科学館は、最先端の科学技術、医療、情報、環境、自然、宇宙等のフロンティア開発、産業など多岐の分野にわたりそれぞれ個性、特色のある内容で、さまざまな角度から科学に対する疑問、科学の不思議さを見て・触れて・確かめることができる工夫がなされていました（東芝科学館、日本科学未来館、千葉県立現代産業科学館）。国立極地研究所、野口研究所は専門的な研究所で、研究内容は難しいものもありましたが、身近な例で興味を持てるよう大変わかりやすく説明していただきました。



また、8月9日（木）の「報告会」では、11名の皆さんは科学の不思議さを楽しんで理解することができて、科学に対する興味、関心がいっそう深まったこと、そして、自分の“夢”につながる内容などその成果を力強く発表して、今回の体験を将来に生

かしていきたいと報告しました。

新しい科学技術分野を切り開いていく世界的に高いレベルの研究や研究者に触れることができたことは、参加した生徒の皆さんの発想を豊にし、将来の夢、目標の指針として大いに役立ったことと思います。

今回『ジュニア科学者の翼』に参加した皆さんの中から、第3回野口研究所「学修奨励金」授与者に、南中学校2年生 柳沼唯季さんと北川中学校2年生 稲田隆人くんの2人が決りました。2人には、書籍や教材購入費の一助として「学修奨励金」が、高校入学時から高校在学の3年間、毎年5万円が野口研究所から授与されます。



『ジュニア科学者の翼』に参加した生徒および学校名（男子4名：女子7名）

氏名	学校・学年	氏名	学校・学年
尾崎雄大	東海中学校2年生	野々上桃子	西階中学校2年生
渡邊健人	三川内中学校2年生	柳沼唯季	南中学校2年生
稲田隆人	北川中学校2年生	桐明楓	土々呂中学校2年生
佐藤模哉	日之影中学校2年生	甲佐晃子	北方中学校2年生
宮田瞳	恒富中学校2年生	斉藤萌弥	尚学館中学校2年生
石渕菜々美	岡富中学校2年生		

※引率 竹光俊司 延岡市教育委員会 学校教育課主任主事

第7回『野口賞』授与事業

《「学術振興奨励賞」、「産業振興奨励賞」に受賞者決定》



第7回『野口賞』にこれまでで最も多い8件の応募がありました。選考委員の皆様による慎重かつ厳正な審査の結果、「学術振興奨励賞」および「産業振興奨励賞」が次のとおり決まりました。

「授賞式」は11月27日(火)ホテルメリージュ延岡にて行い、賞状と賞金30万円を贈呈いたします。また「授賞式」に引き続き、受賞者による講演が行われます。

学術振興奨励賞

- ◆応募者 九州保健福祉大学 薬学部教授 川原正博様
- ◆応募テーマ 『老年性認知症予防・治療薬の探索系の開発とその応用』

産業振興奨励賞

- ◆応募者 宮崎県工業技術センター 材料開発部
代表 材料開発部長 鳥越清様
(株)千住マイクロ技術研究所
代表取締役 石田和壽様
- ◆応募テーマ
『多孔質ガラスを利用した新規はんだ球状粒子製造技術の開発』

「賛助会員」募集について(お願い)

野口顕彰会では「賛助会員」を募集しています。当顕彰会の趣旨・目的にご賛同下さる皆様のご紹介をよろしくお願いいたします。

賛助会費は、

(法人) 1口 1万円/年間 ; (個人) 1口 1,000円/年間

※1口以上何口でも結構です

ご入会を希望される方がいらっしゃいましたら、お手数ですが下記までご連絡いただきますようお願いいたします。

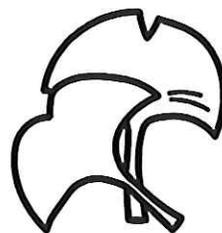
●連絡先

野口 遵 顕彰会 事務局

〒882-0824

宮崎県延岡市中央通り3-5-1 (延岡商工会議所内)

TEL (0982) 33-6666



なお、ホームページを開設して“最新情報”を掲載しています。

<ホームページアドレス> <http://www.wainet.ne.jp/~noguti-k>